

公益社団法人日本建築家協会  
関東甲信越支部 長野地域会

2013  
6.28 | Vol. 98

## NEWS 祝・叙勲

平成25年春の叙勲にて、本会相談役の出澤 潔さんと、  
法人協力会員の岩野 彰さんが、受章されました。  
おめでとうございます。

### 旭日双光章受章

出澤 潔さん

佐久市出身  
東京芸術大学美術学部建築科卒  
出澤建築設計事務所主宰  
現、本会相談役、(社)日本建築士  
会連合会理事、(社)長野県建築士  
会名誉会長

### 黄綬褒章受章

岩野 彰さん

長野市出身  
明治学院大学法学部卒  
(株)岩野商会代表取締役社長  
本会法人協力会員



2013総会・代表挨拶



総会風景



会員集会



懇親会の様子

### 豊饒の季節へ……

JIA長野県クラブ副代表 片倉隆幸

4月20日、公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部長野地域会JIA長野県クラブは通常総会後の会員集会にて「公益法人における出版のあり方」と題して活発な意見交換が行われ2013年度の事業がスタートしました。

広報委員会は引き続きクラブ活動の広報全般を担当していますのでホームページやフェイスブックページの整備と更新を行い、公益の意味を考えた会報とクラブニュースの発行にて地域に根ざした良質の情報を発信していきます。

5月16日、保存問題長野大会特別委員会の現地調査が行なわれました。今後長野地域会では、地域社会の景観と文化の発展の為に重要なと思われる「残したい建築物」を調査し、大会参加者に資料としてお配りします。個々の担当地域の情報収集が来年2月15日、16日の本大会成功への鍵となります。この地域にしかない価値の発掘と継承そして創造への手がかりとなるものを発見し市民の皆様と認識を共有していきたいものです。

5月26日、新潟県内大学卒業設計コンクールに審査員として参加してきました。レベルの高い作品の中で新潟工科大学の小嶋かおりさんの作品が審査員の議論の末金賞となりました。新しい建築を立ち上げず、壁等を生かし、その残し方減らし方の操作により流れる日々に止まり木のような場所を生み出す。空きスペースが増加するとそれだけ魅力的な止まり木の領域が増え、元気な空間に変化し夢を与えてくれる。今の日本の各地域を象徴するかのような空き家の問題を向こう三軒両隣にて今後の空間構成を考えていく。日本が忘れてきたものの大切さ、人が助け合うこと、出会うことの大切さを豊かな詩情空間として表現され感動しました。

コンセプトの内容を補い全国大会に向って頑張っていただきたいと思います。



金賞  
まちの止まり木

力作揃いであります、皆さんの建築の質の豊かさ、日本の今の不安を超えていくような夢のある提案に感動しました。提案された空間を是非見てみたいと思いました。建築家ルイス・カーンは偉大な投げかけは偉大な答えよりもすぐれている…と述べています。

きちんとした建築家であれば日々公益の寄与、公益の保護に尽くして活動されていることと思われます。

僕等の行動はここまでやればそれで良いというものではなく、夢を現実にしていくことと身近な問題解決

のために市民の皆様へ提案し、限りなく忙しい日々であります。会を母体として個人個人が広く市民の皆様へ公益性を表現していきたいものです。

信州の建築家とつくる家は昨年第9集を発刊することができましたこと正会員、協力会員の皆様、本の編集に携わっていただきましたオフィスエムの皆様に心から御礼申し上げます。

出版の原点は広く消費者に役立つものをを目指し、市民の皆様に建築家の役割を伝えての消費者保護と情報の公開にありました。6月11日には広報委員会は拡大委員会として30名程の会員の皆様が集まり公益性と長野地域会としての出版の理念を話し合いました。今後広報委員会は公益法人化にふさわしい出版に向けて議論を重ねていくことになります。

川上代表のもと、正会員と協力会員の皆様方に長野地域会としてますます心豊かな活動ができますよう御指導の程宜しくお願い申しあげます。

恩師石川洋美先生から

好きなことやりたいことを表現できるのは建築家の特権であり義務でもあると思う。だから建築づくりは楽しいし、また怖い。その怖さに負けないこと。

これからも大いに発信してください。楽しみにしています。

平成20年秋の叙勲にて旭日中綬章のお祝いの時、先生からいただいた言葉です。

今後も微力ながら会の活動に正面から取り組んでいきたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ申しあげます。

## 総会報告

2013年4月20日(土)に【2013年度通常総会】が犀北館ホテル(長野市)にて開催されました。

今年度よりJIA日本建築家協会が公益社団法人化され、長野地域会JIA長野県クラブもその下部組織と位置付けられて初めての総会となりました。また県クラブとしては川上代表体制として2年目のスタートとなります。総会に引き続き【会員集会】が「公益法人における出版のあり方」を

テーマとして開かれました。公益法人化されたなかで、今後の長野県クラブの出版事業の方向性について、会員・協力会員により様々な意見が交換されました。結論にいたることはできませんでしたが、出版事業に限らず「そもそも建築家組織としての公益性とは?」といった根本的なところでの共通認識が必要と感じる集会となりました。

### 謙虚さと誇り

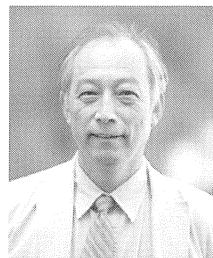
山国信州・とりわけJIA長野県クラブとその仲間たちは僕の宝である。山高く・水清くして・風光る・山紫水明の地にあって人々は助け合い自然と巧く折り合いをつけてきた。日本一の長寿県、社会秩序としての組織率。理屈っぽくて個性はあるが、まとまりの良さも自慢である。満蒙開拓団や排他性などの負の歴史もあるが、仲間の結束は風土である。

JIA長野県クラブも例外ではない。その代表をすることになって1年が過ぎ、改めてそんな実感だが後1年、何とか仲間の助けを借りて勤めたい。ところでJIAという組織は結束以来26年が経ち、今年度は社団法人から公益社団法人として動き出した。このことは進化として歓迎されるべきであろうが、実はどういうことなのかの把握がされないままのスタートとなった。誤解を恐れずに言うなら、減私奉公・社会貢献・ボランティア…つまり仕事を通じての社会貢献から仕事以外でも博愛・奉仕の精神で臨む人格者の団体であろうという宣言である。これは大変なハードルである。憲章にもうたわれているように、建築家は倫理観と品性を保ち建築文化の継承と創造を追求することを日々求められている。そのこと自体も大変なことなのにさらに立派なことをしなくてはいけないという宣言である。

今までわれわれは仕事への情熱はもちろん、非力な自分の自覚からの日々

JIA長野県クラブ代表 川上 恵一

の研鑽とともに、必ずや世のため人のために役に立つんだ!という謙虚な気持ちと誇りを持ってやってきている。しかし認知度も含め世間の評価は低いと実感している。慢心と努力不足でもあろう。内向きの自己研鑽は更なる自覚が必要だが、外向きには本の出版があったのだが、公益法人としては利益誘導との判断でNGとなった。JIA長野県クラブはこの結果を重く受け止めた中で立ち止まるわけにはいかない。しかしまだまだわれわれは公益社団法人とは何なのかを自覚共有していない。これもまた大変な問題である。まずはこのことを理解するためには時間が必要である。是非それぞれが即刻に考えて欲しい。



JIAそのもののありようは今は言うまい。しかしされわれがこの愛すべき信州に生きている限り何といおうと責任と自覚を持っていい仕事をして結果を残そうではないか。

謙虚さと誇りを持って腹をくって行こうではないか! とにかく大変なことがある..

### 総務委員会 今年度もよろしくお願ひします

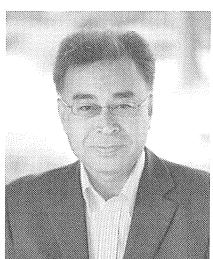
委員長 林 隆

今年の総務委員会は、公益法人化体制に沿った運営のための総務全般を担うことになりました。直接担当するイベントがないために、ひたすら内向きの会議をやっていますが新たに携帯用冊子の作成や出前講座の企画もしていきます。

総務委員会に携わり4年目になりますが、振り返ってみると年々会のイベントが増えています。各活動への参加者が少ない現状には残念な思いもありますが、冷静に考えてみると、すべての活動に参加する事はもはや難しい状態になっているのかもしれません。長野県クラブとしては年間を通じて多くのイベントが用意されています。支部や本部も同様です。その時の判断で優先順位があってもいいと思う最近の心境です。とは言いつつも、各委員会の企画側の立場からすれば、呼びかけに反応が少ないとあって寂しいものです。委員長

達は皆それに耐えながら孤独にやっていますので、できるだけご協力もお願いします。

決して義務感からではなく自発的に活動ができ、会員・協力会員にとって居心地のいい楽しい地域会の雰囲気ができれば理想かと思います。そして自分を磨ける場としての緊張感も保ちながら、長野県クラブでの活動を通して、そして自らの仕事を通じて、地域で活動する建築家にとっての「公益性」とはいったい何なのかを、じっくり考えてみる一年になればと思います。今年度もよろしくお願ひ致します。



### 広報委員会 「地域で戦う建築家たちの想い」と共に歩む至福と至難

委員長 君島 弘章

今年度から建築家協会が公益社団法人に移行することになり、広報委員会としては公益法人にふさわしい広報活動という難題を考える日々です。

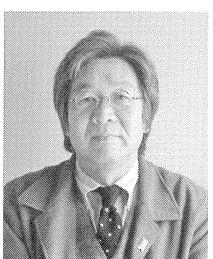
公益化に伴う共通の約束事に縛られ、これまで築き上げてきた地域会の特色が色あせることのないように健全な地域社会を支えていく。そんな広報活動にしたいと思っています。

公益化に伴い、広報委員会としては様々な難題が山積みですが、過去の日本の歴史から考えますと、先達の日本人は諸外国から無理難題を押し付けられても、笑顔をたたえ皆で乗り越えていく、そんな人達によってこの国は支えられてきましたように思います。それも、諸外国の彼らに無理難題を押し付けられても、彼らの要求を全て呑み込みながら先達の出した答えは、諸外国では到底無理であろうと思われるくらい素晴らしい革新性に満ち溢れた回答でした。その想像力こそが先達の日本人の真骨頂であると思います。(自動車、電子電気製品、オリ

ンピック競技など思い浮かべれば数々の事例が頭を駆け巡ります。)

なにごとも目の前の難題はチャンスと思い、きちんと受け止め、取り組み、仲間と共にクリエイティブな答えを導き、笑顔で「どうだ」と乗り越えていきたいとおもいます。

今年の広報委員会は、我々長野県クラブ会員が考える「社会に役立つ情報発信ツールの検討」を行なながら作業を進めていきたいと思っております。(情報発信ツールとは「長野県クラブのホームページ」「会報誌」「信州の建築家とくる家」)



今年も皆様の温かな御支援をお願いいたします。

## 会員委員会 2年目を迎えて

委員長 長島 三夫

何が何だか分からぬまま、一年が過ぎました。正会員そして賛助会員の方々に支えられてなんとか過ごす事ができましたが、皆様には、不満もたくさんおありとお察しいたします。御容赦ください。

2年目を迎えた川上代表の元、代表はじめ会員の方々の足を引っ張らないように、事業を進めて行こうと思っております。一年間の大きな行事とすると、夏のセミナー、冬のセミナー、会員の集い、協力会の集いの他、今年は上田で講演会も企画しています。それらの行事名や内容はまだ確定ですが、会員の方々に少しでもお役に立つような企画を用意して行こうと思いますので、大勢のご参加をお待ちしております。

それぞれの委員会が、たくさんの事業を行っております。全部に出席しようとす

ると、仕事をしている時間がなくなってしまいそうですが、たくさん参加している方の仕事量は、人一倍あることも実感しております。忙しい中出席しても、気にならない会活動になる事を目標に企画づくりを進めようと思っています。

御意見や御希望もありましたら、御遠慮なく伝えてください。

この一年間に多くの大切な仲間を得ることができました。残された一年をまた皆さんに支えられながら進む覚悟であります。どうぞよろしくお願いします。



## 事業委員会 第8回建築祭に向けて

委員長 尾日向辰文

昨年度の建築祭を、大勢の会員の皆様のご協力により、滞りなく執り行うことができました。ありがとうございました。

あらためて書くまでもなく、事業委員会の役割は建築祭の開催です。建築祭の柱は、文化講演会と卒業設計コンクールです。これまでに文化講演会は21回、卒業設計コンクールは22回が開催され、沢山の経験が蓄積されています。先輩方が切り開き敷いたレールの上を脱線しないように進めばよいので、私のような者でも何とか委員長が務まっています。

ここ5年間は、松本市美術館との協同企画という形で開催してきました。しかし昨年度、美術館が開館10周年を迎えて運営方針が転換され、従来通りの関係に危機が訪れています。松本市のみで連続して開催するのはいかがなもの

かとも思い、他の地域での開催を探りましたが、美術館との共同企画という公益性、県内各地から集まりやすいこと、これまで築いてきた美術館との関係もあり、続けられる限りは松本市美術館で継続して開催していくべきだと思います。

継続のためには、卒業設計コンクールを、会員や学生だけでなく、一般の市民と関わりのあるものにしていかないとクリアできそうなく、打開策を暗中模索中。どんなアイデアでもよいので、広く提案をいただけたらと思います。



## まちづくり委員会 まちづくりから景観に目をむけて

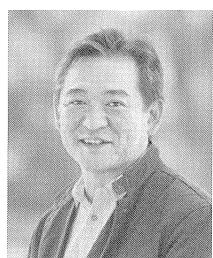
委員長 山田健一郎

昨年度より川上代表の発案により、まちづくり委員会の活動を、都市部でのまちづくりのみならず、広く景観にシフトした活動に拡げる事になりました。時を同じくして今年3月には、阿部知事の主導により「長野県農村景観育成方針」がまとめられ、県土の多くを占める森林や農地を背景にした農山村の美しい景観を保全・創出する活動が拡げられています。私自身も一昨年より木祖村の景観アドバイザーとして景観計画策定に加わるなど、建築家に対して建物の専門家としてのみならず、人の活動、場所の力、自然の力などを読み解きながら豊かな空間や景観を総合的にデザインする能力が、社会から期待されるようになりました。

今までのまちづくり委員会では、各会員が自治体や市民団体と取り組んできた都市部でのまちづくりをウォッチングしながら、まちづくりを学んできましたが、昨

年度より趣を変えて、農山村の景観にも目を向けてみようと考えています。昨年度の秋のウォッチングでは木祖村をめぐり、今年度の初夏のウォッチングでは飯田市大平宿での宿泊体験を通して、農山村の景観を垣間見てきました。秋には、農業と観光を連携させた新たな景観の創出をテーマにしたウォッチングや、景観シンポジウムの開催も計画中です。

建築家として広い視野と職域を拡げる為に、また公益法人の一員として社会の要請に答える為にも、多くの会員、協力会員の方々の、プログラムへの協力と参加をお願い致します。



## 地域材活性化委員会 地域材を使う意味と公益性とは

委員長 新井 優

集団自決の場で何人の子どもを手にかけながら、自らは死に切れなかつた人がいる。約四百人の孤児を引率して命からがら引き揚げてきた人がいる。百人の子どもが途中で亡くなっている。四月二十四日、長野県阿智村に開館した満蒙（まんもう）開拓平和記念館には、国策で満州に渡った人たちが味わった地獄が刻まれている。（東京新聞2013.5.3）……

開館以来、来館者も6000人を突破し、奥歯をかみしめて涙をこらえる方、自分自身の体験を語っていく高齢者、地元の中学生たちの平和学習の姿が、平

導かれて旅したヨーロッパでの印象が意識の中から湧き出したものだ。

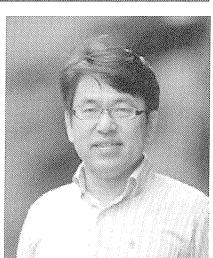
今の私たちの現代生活において直接必要では無いことが、実はとっても大事である事がたくさんある。利便性と経済性を追い求めすぎた結果、地域力は寂れ、人と人との関わり合い自体も薄くなりかけてしまっている。

地域の山の木を使って家をつくる事の意味をしつかり見つめ直す事を当委員会の折り返し点としたい。

多くの地域の職人が関わる地場産業としての位置づけはもちろん、地域の景観づくりの最小単位としての家や集落。そして何より人々の暮らしの記憶は街であり、建築であること（柳澤孝彦氏）



近山の木で家をつくるシステムがある事を地域力と捉え、それがブランド化であると意象を持って活動を進めたい。

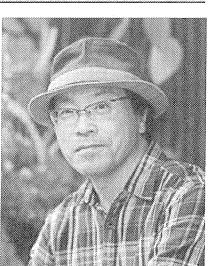


## 保存問題長野大会特別委員会 保存は未来への創造である

委員長 丸山 幸弘

公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部 保存問題委員会主催 第23回保存問題長野大会は、本年度2月15、16日に開催する予定です。この大会は皆さんご承知のとおり150人規模の事業になります。JIAの中でも開催回数23回という歴史ある事業で年々参加者も増えております。近年では一般市民、地域行政など他団体の参加があり社会的にも重要な事業となっています。本年度から公益社団法人化に伴い社会からも、このようなJIA事業に求められる社会貢献への意味は重要と思います。それ故に、今回の大会は身が引き締まる思いです。昨年度より特別委員会を立ち上げ、会員の皆様にご協力して頂きました。すでに大会開催地の視察や長野県内各

地で残したい建築物調査など活動を始めて頂いております。これから夏（8/24・25）開催される支部保存問題委員会理論合宿、更に本大会に向けて一層の企画・運営を皆様と共に進めなければなりません。特に長野地域会は他地域会から期待され大変なプレッシャーを受けています。本大会では地域社会へ貢献ができるように努力するつもりです。どうぞ皆様のお力を借りて第23回長野大会を成功させたいと考えています。ご協力をよろしくお願い申し上げます。



# 賛助会だより

## 感謝と奉仕の心をモットーに!

弊社は雪深い北信濃の木島平において昭和28年に設立し、60年を迎えました。工場は県産材の杉・唐松・桧・赤松と全ての樹種に対応しており、1棟の住宅をトータルで提供できる体制をとっています。乾燥機も25m<sup>3</sup>の釜を3基設置し、敏捷な対応にもお答えできます。また、一昨年には木屑炊きボイラーも設置、環境にも優しい乾燥を目指しております。自社製材ですので、特注サイズも含めあらゆるものに対応し、原木の無駄をなくすためにも構造材から羽原材まで製

新入会員 瑞穂木材 株式会社 代表取締役 宮崎 正毅

作しております。近年お施主様の木を利用しての現場も増え、森林組合さんと連携し山の伐採からお手伝いしております。しかし、まだまだ米松も必要とされることから、特注材については自社製材で対応しております。製材・乾燥・仕上げを一貫して行えるため、スムーズな供給を実現いたします。

皆さんと一緒に家づくりを提案できるそんな工場を目指しております。

信州木材認証工場 N-024 合法木材供給事業者 長野県木連-040  
〒389-2301 長野県下高井郡木島平村穂高3228-1 TEL:0269-82-3118

## エコノロジー「伝統的な価値と新しい価値の融合」

綿半鋼機株式会社 長野事業部 建築開発営業部 橋本 正勝

綿半鋼機は平成24年度に内装工事のシマコーと、さらに今年平成25年4月1日に土木・緑化の綿半インテックと合併しました。建築一式工事、屋根外壁内装工事、内外装リフォーム工事を取り扱っております。合併前より各社でお世話になっていた方々に、新たにご提案をしていきたいと思います。

『エコノロジー』とはエコロジーとテクノロジーを合わせた造語です。先人の知恵と先端技術の融合を表します。時代の先を行く新しい「価値」の提供をさせていただける様努めて参ります。

今後ともよろしくお願い致します。

〒381-0024 長野市南長池236-1 TEL:026-221-2571

## 支える仕事 角藤の力!!!

私共の会社は、今年で創業80年を迎えました。長野市篠ノ井で、農業用金物を販売後、農機具販売等に業務拡大…現在は(1)建築分野(構造系:鉄骨工事、基礎工事)(2)建築仕上げ(金属系内外装工事、窯業系内外装工事、建具工事、屋根工事)(3)土木分野(基礎工事、橋梁工事、法面工事、護岸・河川工事)の3本柱を中心に、関連会社を含め1都10県の事業ネットワークで、営業展開しております。

(1)鉄骨工事…H19年にSグレードを取得し、生産設備で有る工場・デパートや郊外型商業施設・スポーツ・文化施設等、数多く手

(株)角藤 長野本部 長澤 和芳

掛け、日本の産業を側面から支えています。(2)仕上げ工事…壁・天井・屋根・建具等、専門工事を通じ、社会に技術貢献をしています。(3)土木工事…基礎工事・橋梁工事・護岸河川工事等、生活基盤と成る工事を手掛けています。

又、新規事業として、耐震強化工事・地中熱エネルギー利用システムに、取り組んでいます。2年前の大地震・大津波・原発事故の復興支援にも、培ってきた力を尽くし、力強く貢献していきたいと思います。

〒380-0811 長野市東鶴賀町60 TEL:026-233-0101 FAX:026-233-0106

## 屋根の元旦 ソーラーの元旦

元旦ビューティ工業株式会社 甲信営業所 担当 窪田 聖人

当社は創業以来48年にわたり、金属屋根のパイオニアとして常に独創性を企業理念に掲げ、積極的な技術開発につとめてまいりました。平成24年3月末現在において累計特許出願1,259件、累計実用新案出願217件と「技術の元旦」の地位を固めてまいりました。その特許技術をベースに、高い防水性・耐風圧性・断熱性を有する高機能の金属屋根システムを開発し、公共施設をはじめ、工場・店舗・住宅等に幅広く採用されております。

〒408-0015 山梨県北杜市高根町下黒沢2077-1 TEL:0551-47-4321 FAX:0551-47-4329

## 間仕切の総合メーカー

当社は昭和43年の創業以来、間仕切の専門メーカーとして受注から設計、製造、施工、サービスまでの自社一貫システムをもって、様々な製品を社会へ送り出しております。

〒399-0034 長野県松本市野溝東1-16-22 TEL:0263-26-8731 FAX:0263-26-8733

小松ウオール工業株式会社 長野支店 廣川 幸男

また、受注生産方式にて経営しておりますので全ての製品が設計製作製品となり、その建物の為だけの製品となります。

## ■開催したイベント

- 4月20日(土)…2013年度 通常総会
- 5月16日(木)…保存問題長野大会 現地視察
- 6月7日(金)…まち並みウォッチングin大平宿
- 6月15日(土)…建築家 香山壽夫氏と語る会
- 6月28日(金)…第4回地域材フィールドワークin北信

## ■今後の行事予定

- 7月27日(土)…幹事会
- 夏のセミナー
- 8月24日(土)～25日(日)…支部保存問題委員会 理論合宿
- 9月5日(木)～7日(土)…JIA建築家大会2013札幌

編集後記

川上代表体制2年目のスタート号として、代表はじめ各委員長による活動への抱負を中心に今号を編集しました。公益法人化されたなかで、この会報がどのような役割を担っていくべきか、現在広報委員会をはじめ県クラブの中で議論が交わされています。その前(?)に「ついつい読んでしまう会報」にしたいと強く思うのですが、なかなか…難しい。「困難をチャンスに!」したいものです。

下崎明久

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。

編集人／下崎明久 発行所／JIA長野県クラブ 長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内 TEL:026-232-3897 FAX:026-232-5303  
発行人／川上恵一 URL <http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/> E-mail [jia-naga@jeans.ocn.ne.jp](mailto:jia-naga@jeans.ocn.ne.jp)